PeliKine tool set 1 (M1980)

キットカバーシート

編集日: 07.06.2021

組成及び成分情報

危険なコンポーネント（安全データシートを含む）

組成	GHSに基づいた分類	絵表示	ページ
Stop solution	Met. Corr. 1 / H290 Skin Irrit. 3 / H316 Aquatic Chronic 3 / H412		2 – 12

無害なコンポーネント（安全データシートは添付されていません

組成
Coating buffer capsules
PBS tablets
Washing buffer
TMB substrate solution

安全データシート

次の規則に基づいて： JIS Z7253

Stop solution

バージョン番号: 1.0 編集日: 03.06.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名	**Stop solution**
商品番号	M198005

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途	研究用のみ
使用しないよう勧告されている	Invitro診断用途には適していません.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Sanquin
Plesmanlaan 125
1066 CX Amsterdam
オランダ

電話番号: +31 20 512 3599
メール: reagents@sanquin.nl
ホームページ: www.sanquin.org/reagents

電子メールアドレス（資格のある者）	CSVAM@sanquin.nl

1.4 緊急電話番号

緊急時情報提供	+31 20 512 3599 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月－金 09:00 - 17:00, (CET)

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
2.16	金属腐食性物質	1	Met. Corr. 1	H290
3.2	皮膚腐食性/刺激性	3	Skin Irrit. 3	H316
4.1C	水生環境有害性－長期間（慢性）有害性	3	Aquatic Chronic 3	H412

省略の全文：第１６節を参照.

最も重要な物理化学的悪影響、人の健康と環境に対する影響及び症状

消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語 警告
- 絵表示

GHS05

- 危険有害性情報

H290	金属腐食のおそれ.
H316	軽度の皮膚刺激.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

- 注意書き

P234	他の容器に移し替えないこと.
P273	環境への放出を避けること.
P332+P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること.
P390	物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること.
P406	耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること.
P501	内容物/容器を市町村/都道府県/国/国際の規則に廃棄すること.

2.3 他の危険有害性

重要性がない.

PBT と vPvBの評価の結果

当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

製品は、供給者の現在の知識に応じて分類されている任意の 成分を含有し、物質の分類に貢献するためこのセクションで報告が義務づけていません.

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示	注記
硫酸	CAS-番号 7664-93-9	1 – < 2,5	Met. Corr. 1 / H290 Skin Corr. 1A / H314 Eye Dam. 1 / H318 Aquatic Acute 3 / H402 Aquatic Chronic 1 / H410		B(a) IARC: 1 RoC "Known"

注記
B(a): 当分類は水溶液を対象にしている
IARC: 1: IARC グループ1: ヒトに対する発がん性がある (国際がん研究機関)
RoC "Known": NTP-RoC: Known To Be A Human Carcinogen

備考

H 警句の全文：第１６節を参照. 特に明記しない限り、与えられる全ての百分率は重量百分率であります.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること.

吸入した場合

新鮮な空気を入れること. 不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 気道刺激の際は医師の診察を受けること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

開瞼しておき、最低１5分間多量な清浄水で洗浄しておくこと. コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと. 気分が悪い時は毒物センター、または医師に連絡すること.

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

専門家のアドバイス医師が抗毒物管理センターに連絡してくださいするために.

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

ドライ消火剤; 二酸化炭素 (CO2);
環境に適する消防対策を調整すること

不適切な消火剤

水ジェット.

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

金属腐食性物質.

有害燃焼生成物

火災時に有害なフューム/煙が発生することがあります.

5.3 消防士に対してのアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

消火作業者用の特別な保護具

自給式呼吸装置 (SCBA). 消防士のための標準的な保護服.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること. 汚染地域を換気すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること. 要求されているように個人保護道具を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること. 物質が水流や排水路に入った際は、担当の機関に連絡すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと.

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）.

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること．

- 混触危険性物質または混合物の取扱い

- 次の物質から遠ざけること：

苛性溶液

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管．

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

次のリスクに直面した場合

- 腐食性条件

耐腐食性/耐腐食性内張りのある／．．．容器に保管すること．

- 混触危険性物質または混合物

アルカリから離して保管，酸化物質，酸．

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

高い温度．紫外線放射／日光．霜．

その他の情報提供を考慮

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと．

7.3 特定の最終製品

追加情報がない．

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

国内限度値

リストされていない国は、独自の国固有の値を持っている場合があります．

職場ばく露限界値（職場ばく露限界）

国	物質の名前	CAS-番号	特定名	OEL-M [ppm]	OEL-M [mg/m³]	STEL [ppm]	STEL [mg/m³]	注釈	出典
JP	硫酸	7664-93-9	OEL						JSOH

注釈
OEL-M 時間加重平均（長期ばく露）：参考期間８時間の時間加重平均で測定あるいは計算
STEL 短期ばく露限界：他に特定さてない場合、参考期間15分内で超えてはいけない限界

関連するDNEL-/DMEL-/PNECとその他の閾値

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
硫酸	7664-93-9	DNEL	0,05 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－局所的作用
硫酸	7664-93-9	DNEL	0,1 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性－局所的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
硫酸	7664-93-9	PNEC	0,003 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
硫酸	7664-93-9	PNEC	0 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
硫酸	7664-93-9	PNEC	8,8 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
硫酸	7664-93-9	PNEC	0,002 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
硫酸	7664-93-9	PNEC	0,002 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

サイドプロテクション付きの安全ゴーグルを着用すること

皮膚の保護

化学保護衣.

- 手の保護

適切な手袋を着用. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する. 適切な手袋の選択は、唯一の材料に依存するだけでなく、品質のさらなるマークにし、メーカーによって異なりません。生成物は、いくつかの物質の調製と同様に、手袋材料の抵抗値は、予め計算され、適用前にチェックすることがありすることができません.

- 材料の種類

PVC: ポリ塩化ビニル, CR: クロロプレン (クロロブタジエン)　ゴム, ニトリルゴム

- 材料の厚さ

最小限の手袋を使用する 材料の厚さ: ≥ 0,38 mm.

- 手袋の材料の透過時間

最小限の手袋を使用する 手袋の材料の透過時間: >480分（透過性：レベル６）.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと. 職場で洗眼ステーションと安全シャワーを提供する.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること．タイプ：ABEK-P2（ガス、蒸気と粒子に対する結合フィルター、カラーコード：茶色／グレー／黄色／緑／白）．

環境ばく露管理

環境への制御されていない放出を避けるために適切な予防措置を講じてください．排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
粒子	非該当 (液体)
臭気	独特

その他、安全性評価基準

pH（値）	1,2 (酸)
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	100 °C 混合物の一つの成分に関する計算値
引火点	適用されない
蒸発速度	
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
爆発限界	LEL: UEL: 非該当
蒸気圧	測定できない
密度	1,01 $^{g}/_{cm^3}$ では 20 °C
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	1 (水 = 1)
溶解性	測定できない

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	非該当
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2 その他の情報

追加情報がない.

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

金属腐食性物質.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 不適合材料

酸化性物質.

下記によって可燃性物質の放出が生じる：:

軽金属（水素放出によって酸性媒体/アルカリ媒体内）

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：毒性学的情報

11.1 毒性学的影響の情報

混合物そのものについて試験データが入手できない.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として分類されない.

- 混合物の成分の急性毒性

混合物の成分の急性毒性					
物質名	**CAS-番号**	**ばく露経路**	**エンドポイント**	**値**	**生物種**
硫酸	7664-93-9	経口	LD50	2.140 $^{mg}/_{kg}$	ラット

皮膚腐食性/刺激性
軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として分類されない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として分類されない.

発がん性
発がん性として分類されない.

生殖毒性
生殖毒性として分類されない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.

吸引性呼吸器有害性
吸引性呼吸器有害性として分類されない.

第１２節：環境影響情報

12.1 毒性
長期継続的影響により水生生物に有害.

混合物の成分の（急性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
硫酸	7664-93-9	EC50	>100 mg/l	水生無脊椎動物	4 8 h
硫酸	7664-93-9	ErC50	>100 mg/l	藻類	7 2 h

混合物の成分の（慢性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
硫酸	7664-93-9	NOEC	0,025 mg/l	魚	65 d

12.2 難分解性及び分解性
データなし.

12.3 生物蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動度
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.

12.6 内分泌かく乱物質
一つも成分が表示されていない.

12.7 他の有害影響
データなし.

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法
下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 環境への放出を避けること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

備考
国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連出荷名	非該当
14.3 輸送時の危険性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置
追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送
データがない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)
輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報
IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報
ICAO-IATA協定対象外.

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制
追加情報がない.

国の規則 (日本)

既存および新規化学物質リスト（CSCL-ENCS）
全成分はリストに記載されている.

15.2 化学物質安全性評価
当該混合物の化学物質安全性評価は供給者により実施されていない.

第１６節：その他の情報

改訂日

編集日: 03.06.2021. バージョン番号: 1.0. Date format:

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Aquatic Acute	水生環境有害性－短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性－長期間（慢性）有害性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DMEL	導出最小毒性レベル
DNEL	導出無影響レベル
EC50	半数影響濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す
ErC50	≡EC50:　当方法では被験物質と比較し、濃度の成長 (EbC50) または成長率 (ErC50) が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IARC	国際がん研究機関
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
JSOH	日本産業衛生学会 "産業衛生学雑誌": 許容濃度等の勧告
LD50	半数致死量：LD50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する用量のことをいう
LEL	爆発下限界 (LEL)
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
Met. Corr.	金属腐食性物質
NOEC	無影響濃度
NTP-RoC	National Toxicology Program: Report on Carcinogens
OEL	許容濃度
OEL-M	時間加重平均
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
ppm	100万分の1
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STEL	短時間暴露限界

略	使用した略語の説明
UEL	爆発上限界 (UEL)
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H290	金属腐食のおそれ.
H314	重篤な皮膚の薬傷･眼の損傷.
H316	軽度の皮膚刺激.
H318	重篤な眼の損傷.
H402	水生生物に有害.
H410	長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.